

平成27年度わくわく節水実践コンクール「実践報告書」

熊本市立日吉中学校

環境教育担当

高田 浩次郎

1 はじめに

本校は毎年、学校版ISOコンクールに参加している。同時にわくわく節水実践コンクールへも参加し、今回で7回目である。一昨年度、新たに生徒会エコ委員会を立ち上げ、わくわく節水実践コンクールについて専門的に取り組むことにした。委員は各クラスから1名ずつ選出し、任期は他の委員会が半年なのに対して、1年間とした。それは、通年でわくわく節水実践コンクールにじっくりと取り組めるようにするためである。そこで、毎年、4月、「日吉中学校に必要な節水の取組は何か」、「どんな宣言ができるのか」の2点について、委員会で話し合い、さらに5月の生徒総会で、全校生徒で話し合った。その結果、身のまわりのことから少しずつ始められる取組を行ってきた。

2 宣言について

〈節水実践内容〉 昨年度からの継続

熊本市の節水運動に積極的に参加

- ・エコ委員会による節水運動についての呼びかけ
- ・熊本市の地下水についてのポスター掲示
- ・バケツを使っての清掃
- ・生徒会と協力した、学校内10%節水の取組
- ・雨水を利用した花壇への水やり

3 実際の行動について

(1) 帰りの会で各クラスのエコ委員が節水についての呼びかけを毎週月曜日に定期的に行っている。また、熊本市の節水シールをエコ委員が水道付近に貼り、生徒への啓発を行っている。生活の中で節水の意識が芽生え、掃除時間等は蛇口で直接雑巾を洗う生徒はいない。バケツを利用しての掃除は学校全体で徹底している。

節水シール



(2) 5月の生徒総会でエコ委員会から節水を呼びかける活動を行うことを提案し、了承を得た。また、2月には生徒会エコ委員会の1年間の取り組みを、パワーポイントを使って、全校生徒に紹介する予定である。その際に再度、節水を全校生徒に直接呼びかける予定でいる。

バケツの利用



(3) 樹木や花への水やりには雨水タンク（雨水くん）を積極的に活用する。生徒会執行部、緑化委員会、美化委員会と連携を図りながら、校内のいろいろな場面で節水に取り組む。

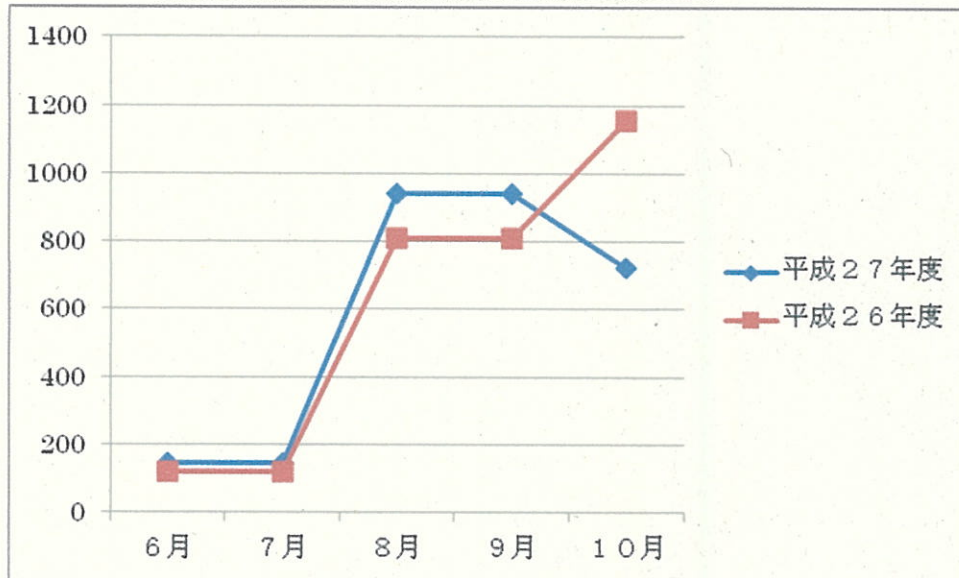
雨水くん



4 実際の行動の結果

1年間節水実践コンクールを行った結果、6月から10月までの使用量が、昨年度の水道使用量3,010m³から、今年度は2,904m³に減少した。また、一昨年度まで緑化委員会が行っていた夏季休業中の花壇の水まきを、今年度も昨年度に引き続き、1,2年生全員で分担して行った。一人一人が、節水を意識しながら花壇の水まきができた。

日吉中学校の水道使用料（6月～10月）



(水道料：m³/月)

5 見直しについて

- (1) 11月下旬に生徒会が発足し、エコ委員会も新委員長のもとで活動がスタートしたが、引き続き、「わくわく節水実践コンクール」に取り組んでいきたい。
- (2) 今後も各クラスでエコ委員による節水の呼びかけを積極的に行い、生徒の節水への関心を高めたい。また、その成果を学期に1回、全生徒へ報告する場を確保していきたい。
- (3) 節水に対する生徒の意識付けを学校の取組だけで終わることなく、生徒会新聞等で家庭へも啓発することで、家庭で節水について考える機会を設けたい。
- (4) 水道使用量を具体的に廊下の掲示板等へ提示したり、生徒集会等で調査結果を生徒に知らせ、学校で生活する全員が節水について更に考える機会をつくっていきたい。

6 おわりに

日吉中学校の生徒会常任委員会に新しくエコ委員会が発足し、3年目をむかえた。エコ委員会の常時活動として、「節水・節電のよびかけ」「エコキャップ（ペットボトルキャップ）回収活動」「古紙回収（紙のリサイクル）活動」など、生徒たちからアイデアを出して活動をしてきた。昨年度と今年度の奨励点と反省点を整理し、次年度は、さらに生徒会執行部やエコ委員会を中心とした生徒たち自らが考えて活動する場面をたくさん作り、生徒たちが生き生きと活動することにより、校内の取組だけでなく、家庭を巻き込んだ取組ができるようにしていきたい。